

## 〈 施工説明書 〉

上吊り連動引き戸  
(間口9尺・12尺タイプ)

株式会社 **ウッドワン** 〒738-0023 広島県廿日市市下平良1-12-1  
商品相談窓口 フリーダイヤル ☎ 0120-813-331

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。  
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



## 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まわれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

## ・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。

## ・インパクトドライバーで締めすぎないようにする。

インパクトドライバーの締めつけトルクが強すぎると、ビスが空回りしてしまうおそれがあります。



必ずおこなう

## ・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

## ・吊り車が完全に固定カップにはまっていることを確認する。

扉を吊り込む際、吊り車のツメが下においていることを確認し、扉をゆすったりして外れないことを確認してください。

## 施工終了後

## ◆ 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

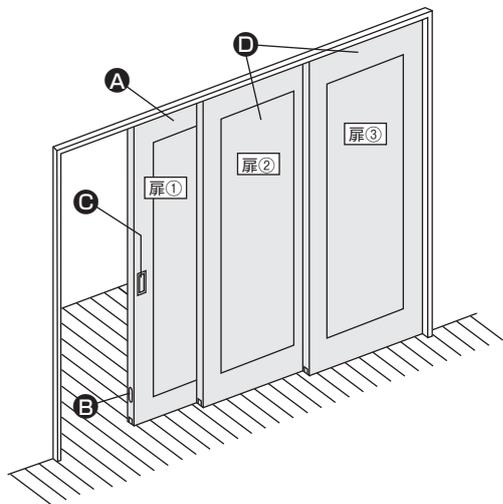
## ◆ お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を堅くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナーなどの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

# 開梱

梱包を開いたら引き戸本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

## 全体図



## 扉① 梱包内訳表

	部材名	数量	備考
A	引き戸	1枚	
B	開き防止金具(マグネット)	1個	取り付け済

引き手(別売品)

	部材名	数量	備考
C	引き手	1セット	ビス同梱

## 扉② 扉③ 梱包内訳表

	部材名	数量	備考
D	引き戸	1枚	引き手加工無し

※間口9尺タイプは扉②のみです。

※ストッパーは枠セットの梱包に同梱されています。

# 施工手順

## 引き戸の取り付け

2枚引き込み戸【左引き(L)】



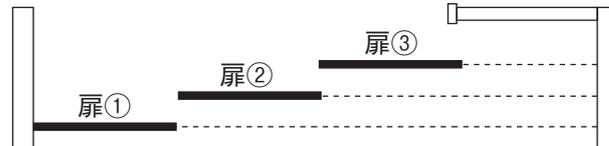
2枚引き込み戸【左引き(L)】



3枚引き込み戸【右引き(R)】

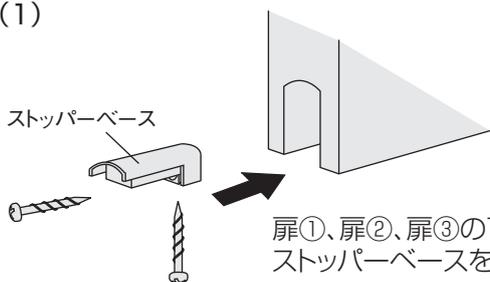


3枚引き込み戸【右引き(R)】



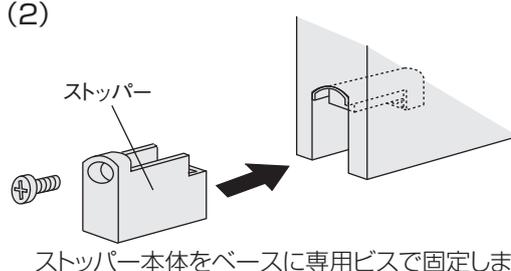
## ストッパーの取り付け(枠材に同梱)

(1)



扉①、扉②、扉③の下の両側の欠き込みにストッパーベースを皿ビスで固定します。

(2)



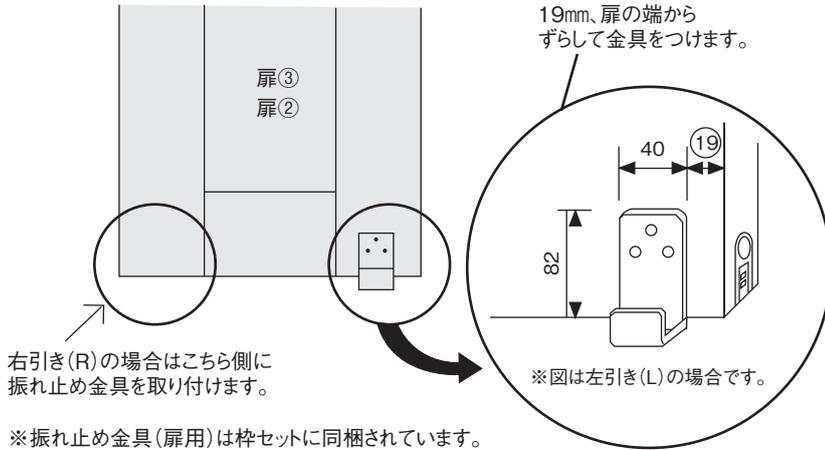
ストッパー本体をベースに専用ビスで固定します。

## お願い

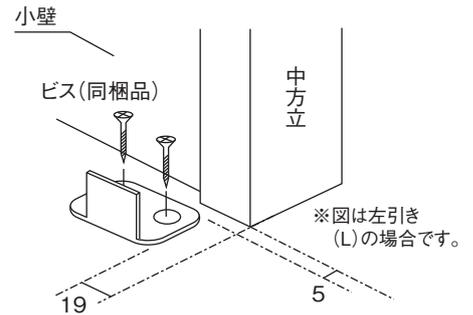
- ストッパーベースを組み付ける前にビス下穴(φ2.5、深さ50mm)をあけてください(基材割れ防止)

## 振れ止め金具の取り付け

- (1) 3連引き戸の場合は扉②(扉①と接する側)、扉③(扉②と接する側)に、2連引き戸の場合は扉②(扉①と接する側)に振れ止め金具(扉用)を図の位置に取り付けます。



### 振れ止め金具(床付け用)

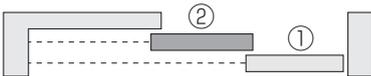


振れ止め金具(床付け用)を上図のように床に取り付けます。

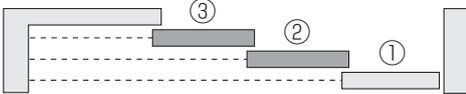
※振れ止め金具(床付け用)は枠セットに同梱されます。

## 引き戸の取り付け

### 2枚引き込み戸の場合



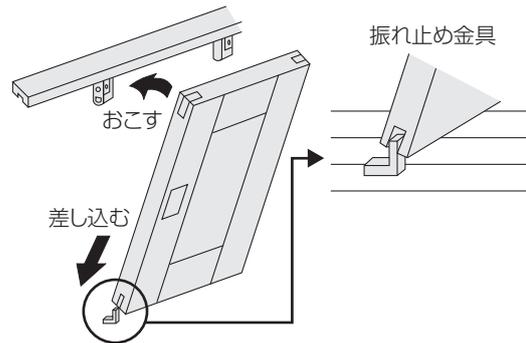
### 3枚引き込み戸の場合



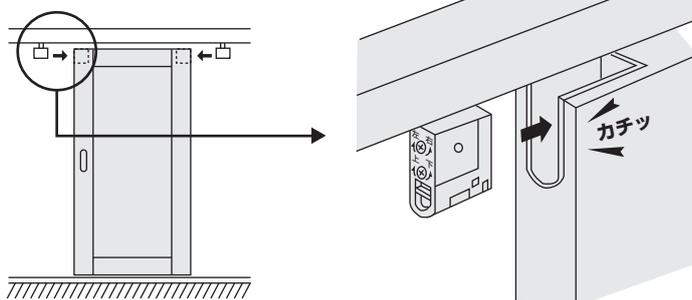
※図は左引き(L)の場合です。

扉③、扉②、扉①、の順で吊り込みます。(2連の場合は扉②、扉①の順)

- (1) 扉③を床につけた振れ止め金具にひっかけ、扉③をおこします。



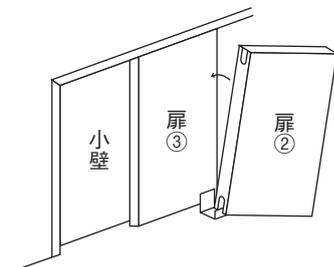
- (2) 吊り車をスライドさせ、固定カップにカチッと音がするまで差し込んでください。



### ⚠ 注意

扉を吊り込む際、吊り車のツメが下におりていることを確認し、扉をゆすったりして外れないことを確認してください。

- (3) 扉②を扉③の下部につけた振れ止め金具にひっかけ、扉②をおこします。

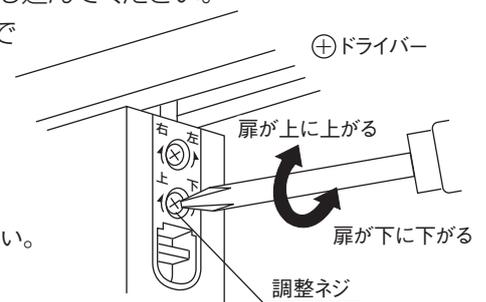


- (4) (2)と同様に吊り車を差し込んでください。

- (5) 扉①は(3)、(4)の手順で取り付けてください。

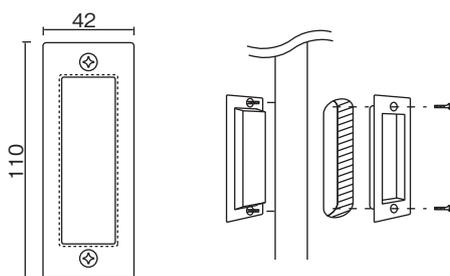
- (6) 吊り車の調整を行い、扉を全て2mm上に上げてください。

※調整の際は、両側の吊車2つとも必ず調整してください。(下側の調整ネジ)



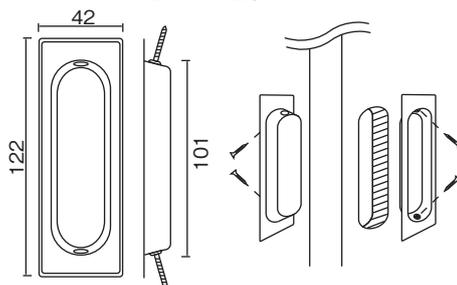
## 引き手の取り付け

〈角タイプ引き手の場合〉



1セットを同梱のビスで水平にとめます。

〈Rタイプ引き手の場合〉



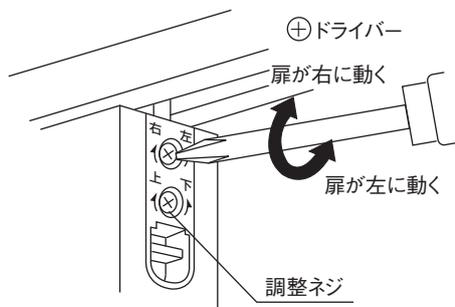
片側ずつ同梱のビスで斜めにとめます。  
表・裏ともに本体にビスでとめます。

### お願い

電動ドライバーによるビス止めは、引き手を破損するおそれがありますのでおこなわないでください。

## 引き戸と引き戸が擦れ合う、又は引き戸と中方立があたる場合(左右調整)

(1)吊り車の左右調整

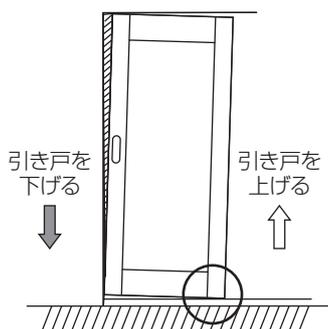


引き戸をご使用の際に、引き戸と中方立の間隙が大きい、または、逆に隙間が少なくて引き戸同士、または引き戸と中方立が擦れるような場合には、上部ガイドと戸車の左右調整を行ってください。(上側の調整ネジ)

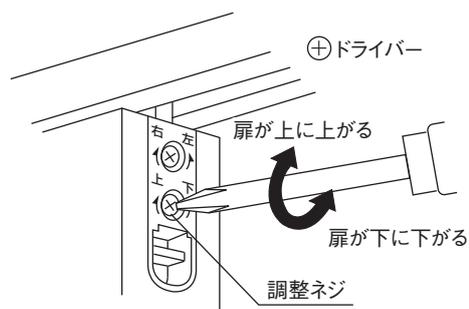
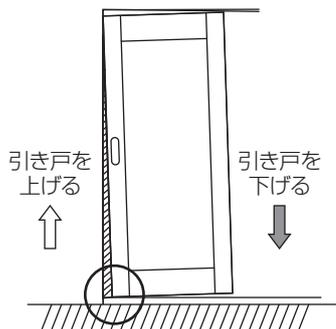
## 縦枠と引き戸の間に隙間が生じたとき(上下調整)

吊車の上下調整

(1)引き戸と縦枠の上部に隙間が生じたとき



(2)引き戸と縦枠の下部に隙間が生じたとき



隙間の状態を確認後、プラスドライバーにて吊車の上下調整ネジで調整を行い、縦枠と引き戸の隙間をなくしてください。その際は、両側の吊車2つとも必ず調整をしてください。(下側の調整ネジ)